

# 菟田野小だより「桜梅桃李」

No.9

令和4年 7月20日(水)

(<http://www.utano-e.ed.city.uda.nara.jp/>)

## 夏休みは「小学生躍進月間」

コロナの感染者が、ここへ来て奈良県でも1000人を超える日が続く、「第7波か」と言われている中で1学期が終了しました。保護者のみなさまには何かとご協力いただき、本当にありがとうございました。

夏休みが始まります。ある先人は、「夏休みは、親が子どもとじっくりつきあい、子どもに“宝の思い出”を刻んであげる機会にしたい。「何か一つ」やり抜くことが、子どもの自信につながります。夏休みに家族で旅行して、思い出をつくることもよいことですが、親子で一緒に何かに挑戦するのも尊い思い出になるでしょう。」と述べています。



何かに挑戦した  
思い出をつくる夏にしていきませんか。

## 8・9月の予定

8/5 (金)	全校登校日
9/1 (木)	2学期始業式
10/1 (土)	運動会

## 1年 アニマルパークとの連携授業

菟田野小学校では、毎年1年生がアニマルパークと連携して「いのちの教育」を進めています。



7月1日にはアニマルパークに出向いて動物と触れ合う活動を行い、8日には出前授業で「ペット」「家畜」「野生動物」と人間とのつながりについて学びました。9月にもう一度来校していただく予定です。

## 被爆体験伝承者から6年生へ

7月1日(金)6年生が原爆のことについて講話を聞きました。講師は、広島から被爆体験伝承者として来られた三嶋千賀子さん。

今までは、修学旅行で被爆者の方から直接お話を聞いていたが、戦後77年が過ぎ、被爆者が高齢にな



られ被爆体験を話すのが難しくなっています。そのため被爆者の方から体験談を聞き取り、代わりに講話をするという「伝承者」という仕組みが7年前から始まりました。三嶋さんはその第1期生として、全国を回って伝承活動をされています。

はじめに原爆投下直後の広島の様子や国民をとりまく情勢などを紹介された後、三嶋さんが伝承されている笠岡さんという被爆者の方の体験をお話くださいました。

三嶋さんは、最後に6年生に2つのお願いがあると語りました。一つ目は「他を思いやる愛の心を持ってほしい」でした。身近にいる家族や友達を大切にしましょう、と話されました。二つ目は「自分にできることから行動してほしい」でした。前号で紹介した6年生のウクライナ支援の取組にとっても感心しておられました。三嶋さんは三嶋さんの立場(伝承者)で平和を訴えておられます。6年生は6年生の立場で、ウクライナ支援以外に平和のために何ができるか、考えて行動してくれると思います。



巡り来る77回目の夏が、6年生にとって特別な夏になってほしいと思います。